

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

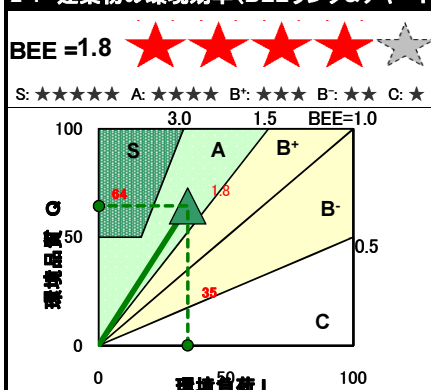
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	知恩院新和順会館	階数	地下2F 地上3F
建設地	京都府京都市東山区	構造	RC造
用途地域	第2種住居専用地域	平均居住人員	200 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,000 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年1月 予定	評価の実施日	2009年7月15日
敷地面積	3,585 m ²	作成者	
建築面積	1,623 m ²	確認日	2009年7月27日
延床面積	6,747 m ²	確認者	

外観パース等

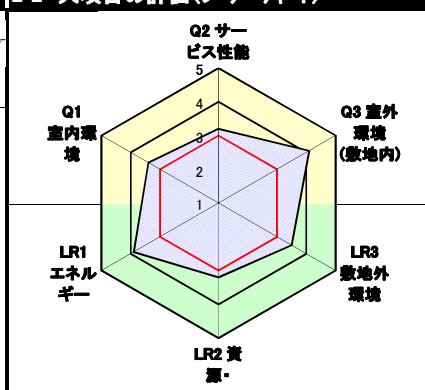
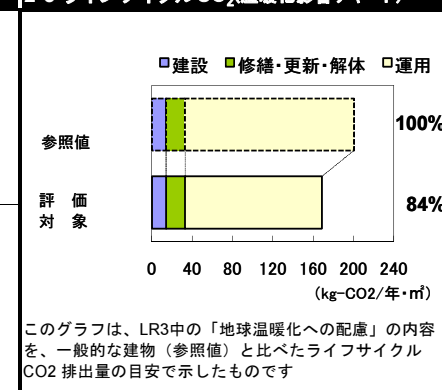
図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください

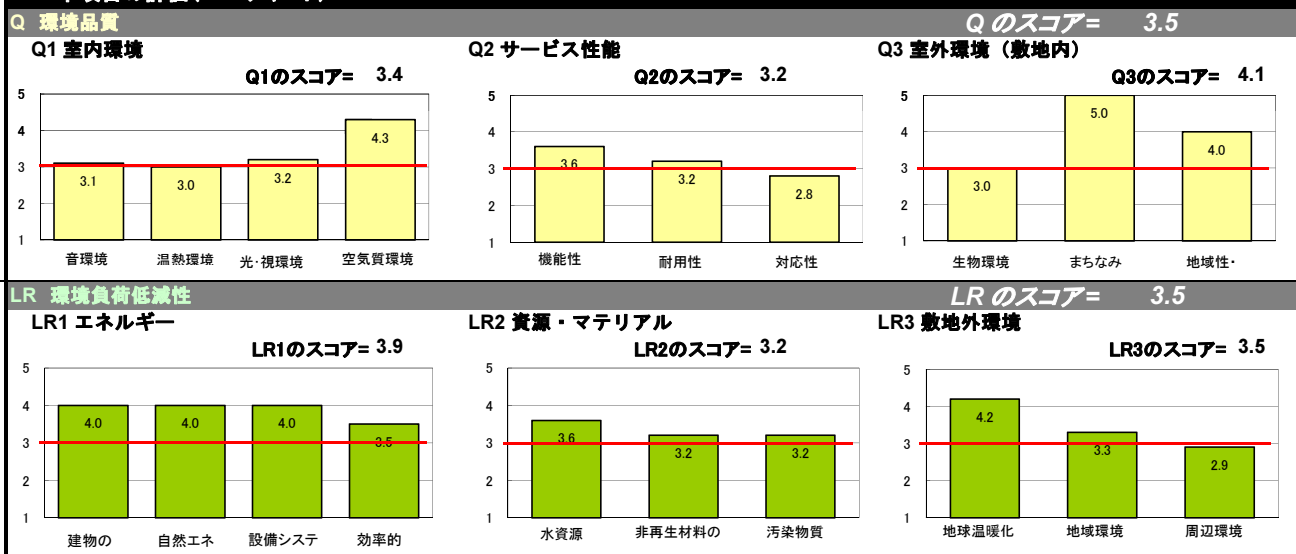
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
浄土宗総本山知恩院の檀信徒会館として、「自然との共生(ともいき)、社会との共生(ともいき)」を設計コンセプトとし、環境配慮施設としての基本性能の確保を図る。		1971年竣工建物の建て替え。廃棄物指導課と協議の上、既存躯体利用が認められた部位においては存置とし、廃棄物量を可能な限り削減する。既存建物で使用していた床の石材や瓦材は一部再利用を行う予定である。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
遮音対策の徹底	高耐久性素材の使用による長寿命化	風致地区にあって、周辺環境に留意し、国宝三門前の景観を新しく整備すべく、湧水・せせらぎ・緑段・緑陰により、豊かな屋外空間を形成する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
通風による空調負荷低減、井水の屋外機散水による機器効率の向上	井水を水景・外部灌漑・便所洗浄水に利用し、上水使用量を削減	低騒音・低NOx燃焼機器の採用

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される